

## 自分ですすめる『学びの一歩』

中2社会『第2章 日本の地域的特色』(教科書 P.132~166) 名前( )

第2章の学習課題(問い合わせ): 「日本には、どのような地域的特色があるのだろう?」

3節 資源や産業の特色(教科書 P.154~163)

「資源や産業の面から見て、日本はどのような地域的特色があるのだろう?」

目標: 日本の資源や産業からみた特色をさぐり、産業の面における地域的特色を見いだすことができる。

### ステップ1(学習の進め方)

- ・資源・エネルギーの面からみた日本の特色について、さぐり出そう。

日本の人口分布の特色との関連にも着目しよう!

- ・日本の発電量の内訳から日本の資源・エネルギーについての情報を集めよう。

Q. どうしてこのように変化したのだろう?

教科書 P.157「⑤おもな発電所の分布」の資料から読み取ろう!

教科書 P.156~157 をもとに、調べよう!

教科書 P.155~157 を読んだ上で、考えてみよう!

⌚キーワード「地球温暖化」「再生可能エネルギー」

- ・ここまで情報とともに、日本の資源・エネルギーに関する特色と課題を整理しておこう。

ていねいにきちんとした文章でまとめようとしなくてもいいです。特色と課題について見いだしたことを簡単に書いて整理しておくだけでOKです。

### ステップ2 (自分でやってみよう)

1. 地図帳 P.148「⑥宇宙から見た夜の日本列島」の資料から、日本の明るいところはどんなところか、読み取れることを書き出そう。 [技]

2. この光源となる電力、日本ではどのように生み出されているか、確かめよう。 [技]

①日本の発電方法を割合の多い順に書き出しましょう。(P.157「⑥おもな国々の発電量の内訳」)

1位 ( %) 2位 ( %) 3位 ( %)

②2010年から2015年にどのような変化が見られますか?

③他国と比べて、日本の発電にはどのような特色が読み取れますか?

④日本で一番多くの電力を発電する発電所は、どのような場所に分布しているのだろう?

⑤この発電所では、何を燃料にして発電しているのだろう?

⑥その燃料は、どこから運ばれてくるのだろう?(資源ごとに確かめよう)

⑦この燃料を大量消費、またこの発電にたよることでどんな問題が考えられるだろう? [思]

3. ここまで集めた情報をもとに、資源・エネルギーに関する日本の特色と課題を整理して、簡単に書き出していこう。 [思→知]

## ステップ1(学習の進め方)

・次に、日本の産業からみた特色を、教科書162ページからさぐっていこう。

教科書 P.162「④おもな国の産業別人口の割合」のグラフから読み取ろう！

・第何次産業がどのような業種なのかを整理してまとめておこう。

キーワード「第1次産業」「第2次産業」「第3次産業」

・日本の第1次産業の特色と課題について、教科書 158～159ページと地図帳152ページをもとにさぐつてみよう。

それぞれさかんな地方や地域、都道府県などを資料から読み取りながら、地域的特色を大きく捉えていきましょう！書くスペースが足りなければ、ノートに書いたり、地図にまとめたりしてもOKです。

教科書から見つけた特色や課題を箇条書きで短文でメモしよう！

Q. 「近郊農業」「促成栽培」「抑制栽培」とは、それぞれどのような農業のやり方なのだろう？

Q. 「養殖業」「栽培漁業」とは、それぞれどのような漁業のやり方なのだろう？

## ステップ2（自分でやってみよう）

4. 日本の産業別人口の割合について調べよう。

①2015年の日本の産業別人口の割合、多い順に書き出してみよう。

1位 ( %) 2位 ( %) 3位 ( %)

②1970年と比べて日本の産業別人口は、どのように変化しましたか？

③アメリカやタイと比べて、日本の産業にはどのような特色が読み取れますか？

5. 教科書 P.162 を参考にして、産業別のおもな業種を整理しておこう。

①第1次産業のおもな業種

②第2次産業のおもな業種

③第3次産業のおもな業種

6. ここまで得た情報から、日本の産業の特色をメモしておこう。

<日本の農業>

7. どの地方や地域で、どんな農業がさかんなのかを調べてみよう。

①米づくりがさかんな地方や地域は？

②野菜の栽培がさかんな地方や地域は？

③果樹栽培がさかんな地方や地域は？

④畜産がさかんな地方や地域は？

8. 日本の農業の特色や課題について、調べよう。

9. 日本の林業や漁業の特色や課題について、調べておこう。

<日本の林業>

<日本の漁業>

10. 第1次産業には、どのような課題が共通しているのだろう？

技

知

技

知

知

思

## ステップ1(学習の進め方)

- 日本の工業の特色について、教科書160～161ページと地図帳150ページをもとに、さぐつていこう。

Q. 日本の工業は、どのように変化しているのだろう？

教科書 P.160「②全国の工業出荷額の内訳」のグラフから読み取ろう！

教科書 P.160「①おもな工業地域の工業出荷額の内訳」のグラフで確かめよう！

地図帳 P.150「④工業地域の分布」「⑥鉄鋼業」「⑦自動車工業」「⑧電子工業」の資料を活用しながら地域的特色を見つけよう！

Q. 「産業の空洞化」とは、どのような現象なのだろう？

- 第3次産業の特色と変化について、さぐりだそう。

教科書 P.160～161をもとに、調べてみよう！

## ステップ2（自分でやってみよう）

11. 工業がさかんな地域から日本の工業の地域的特色を読み取ろう。

①「日本で工業がさかんな地域は、どのようなところに広がっているのか？」

教科書 P.160「③日本のおもな工業地域」の地図で分布を確かめよう。

②おもな工業地域がどんなところに分布しているかを言葉で説明してみよう。

③1970年ごろの工業地域と比べて、工場の立地はどのように変化していますか？

④工業出荷額の割合が多い順に工業地帯や工業地域を書き出してみよう。

1位 ( %) 2位 ( %)

3位 ( %) 4位 ( %)

5位 ( %)

12. おもな工業地域ごとに工業出荷額の割合が最も高いものを確認しよう。

→例えば、全国合計のグラフでは、「機械」(43.6%)が最も高い=比較的機械工業がさかん

13. 次の①～④の工業がさかんな地域を、地図帳 P.150 で確認しながら、分布に着目して地域的特色を見いだしてみよう。

①輸送機械・自動車工業 ②電子機械・電子工業 ③化学 ④鉄鋼

→例えば、○○工業は、～に沿って分布している。□□地方は○○工業が多い。

14. 教科書 P.162～163 から第3次産業の特色を読み取ろう。

☆第3次産業の割合が高い都道府県は？

☆これらの都道府県はどのようなところだろう？

☆日本の商業にはどのような変化がみられるのだろう？

☆サービス業で拡大している分野は？

## ステップ3（学びを生かしてチャレンジ！）

「資源や産業の面からみて、日本はどのような地域的特色があるのだろう？」

7. ステップ2の3～14で読み取ったり調べたりしたことをもとに、資源や産業の面からみた日本の地域的特色を、整理してまとめておこう。

思→知

<発展課題> 産業の面からみた地域的特色を、日本地図などに整理してみよう。